

ウンセリング= 相談」と 居られる空間をつくり たい」と話すサークル代 表の蒲原真澄さん。「力

願って、その交流の芽を大切にはぐくんでいます。

コイバ」は、まち中に明るい笑顔の花が咲くことを なの願いは一つ。小さな種から芽が出たばかりの、 軽に話し合える。イコイバ』になればいいな」とみん りの空き店舗を拠点に活動を始め、今年で三年目

うに支えたい。安心して を抱え込むことがないよ 「中高生が一人で悩み

を迎えます。

イ(行こう)」から付けられました。JR玉名駅前通

誰もが気軽に立ち寄れる

宮する「まちの保健室"イコイバ」 福祉大学(玉名市)のピア・カウンセリングサークル た、地域の人たちとの交流の場」として、九州看護 「中高生などの悩みや不安を受け止める場 ピア・カウンセリングとは、同じような境遇や悩み

久佐賀真理講師)の学生が中心となって運

らうことができます」「相手の話を聞くこと、そし 中でポロッと本音を話せるような関係が理想です た」と話します。将来は、「まち全体が、みんなが気 て自分の気持ちを伝えることの大切さを学びまし ね」と、専門家の田上民子さん。学生たちも、「ここ しても、相手は構えるだけですよね。 普段の会話の 軽に相談できるのでは。『さぁ、悩みを話して』と促 若年層を対象にしているのはここ「イコイバ」だけ。 みは、全国各地にありますが、学生が中心となり、 でいろんな人と交流することで、自分も元気をも まち全体が「イコイバ」になることを願っ 身近で自然体の学生たちだからこそ、中高生が気 地域の気軽な相談所「まちの保健室」の取り組

ちの保健室」モデル事業として、「イコイバ」はスター

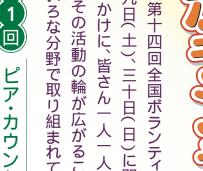
「しました。その名は、「憩いの場」と熊本弁の「イコ

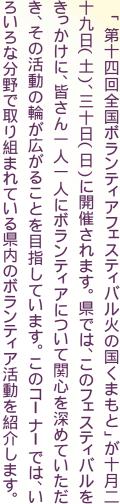
という地域の声を受け、日本看護協会が進める「 うこと。「思春期の多感な子どもたちのサポートを」 を持つ者同士(仲間)が、対等な立場で話を聞き合

ピア・カウンセリング「 まちの保健室

いった堅苦しさはなく、みんなが愛 称で呼び合う家族的な雰囲気。現在、学生四 時)に交代で対応しています。 日の午後四~八時(十月~三月は午後四~七 十一人、看護職の専門家六十五人が、月~金曜

「イコイバ」の 学生、専門家の皆さん







皆さんの質問にお答えします。

夜間に子どもが病気になったり、けがをしたりしたと き、どこに相談すればよいのですか。身近に相談でき る人がいなくて困っています。

小児救急電話相談を行っています。

休日や夜間の救急患者数のうち、子どもの割合がとても 高くなっています。その中には、自宅での静養や翌日の昼

電話相談の流れ

子どもの急な病気など

県内統一 #(シャープ)8000 携帯電話やダイヤル回線電話からは

096-364-9999



熊本地域医療センター(熊本市) 相談時間/毎日・午後7時から午後11時まで

看護師(必要に応じて小児科の医師)が対応

間の受診で済むような 軽症の場合が少なくあ りません。

この背景には、核家 族化や少子化が進み、 子どもが病気になった ときに身近に相談でき る人がいないことの影 響などがあるといわれ ています。

このような保護者の 方々の不安を解消する ために、県では、熊本県医師会と熊本市医師会、熊本県看護協会の 協力で、夜間の小児救急に関する相談ができる「熊本県小児救急電 話相談」を行っています。

県内どこからでも「#(シャープ)8000」で相談できます。

この電話相談は、県内どこからでも「#8000」で利用できます。

ただし、夜間の子どもの病気やけが、薬、応急処置などに対応す るためのものです。一般的な育児相談などは、平日の昼間に、保健 所など各相談窓口にお電話ください。

熊本県小児救急電話相談の概要

相談時間 / 毎日・午後7時から午後11時まで

電話番号 / #8000(県内統一)ただし、プッシュホン回線電話の場合 携帯電話やダイヤル回線電話からは、096-364-9999。

相談 員/看護師資格を持つ専任の相談員が対応します。 全員、小児科の担当経験のある看護師です。

相談内容/相談員が子どもさんの様子をお伺いし、対応に ついての助言を行います。必要に応じて、小児科 の医師が助言や応対をします。

電話による限られた情報に基づく助言です。あくまでも相談される方 のご判断の参考としていただくためのもので すので、その限界についてはご承知ください。

お問い合わせ先

熊本県地域医療推進課 医事班

☎ 096-383-1111(内線7046) FAX 096-385-1754 電子メール tiikiiryou@pref.kumamoto.lg.jp

